

第6次水俣市総合計画（素案）についてのパブリック・コメント

実施結果及び市の考え方について

「第6次水俣市総合計画（素案）」について、市民の皆さまからの御意見等を募集しましたが、寄せられました御意見等とこれらに対する市の考え方を下記のとおり掲載いたします。御意見をお寄せいただきありがとうございました。

記

1 募集期間

平成30年12月17日（月）～平成31年1月11日（金）

2 閲覧場所

①市役所仮庁舎内（1階階段前、2階総務課行政資料閲覧コーナー、政策推進課窓口）

②総合体育館 ③おれんじ館 ④水俣病資料館 ⑤総合医療センター（本館1階ロビー） ⑥愛林館 ⑦こどもセンター

⑧ふれあいセンター ⑨図書館 ⑩もやい館（1階保健センター、2階受付前） ⑪湯の鶴温泉保健センター

⑫高齢者福祉センター ⑬水俣市ホームページ

3 御意見等総数（意見等提出者数）

提出	1件（1人）
郵送	0件（0人）
FAX	0件（0人）
Eメール	8件（3人）
計	9件（4人）

4 御意見等の取り扱い（1件の中に複数意見が含まれる場合があるため、総件数と一致しません）

意見等を踏まえ、素案を修正・追加補足するもの 5件

今後の取組の参考とするもの 8件

上記のどちらでもないもの 6件

1 パブリック・コメント意見等に係る市の考え方

No	ページと項目名	意見等の概要	市の考え方
1	<p>【ページ】 17 ページ</p> <p>【項目名】 目指す将来像「みんなが幸せを感じ 笑顔あふれる元気なまち 水俣」</p>	<p>水俣市は、水俣病とともに、環境モデル都市として全国的に有名になり、それによる集客が一定程度達成されているにもかかわらず、あえて将来像から「環境」を外し、環境政策については、目標項目の順位を1番目から4番目に落としていることは、チャレンジングというか、なかなか無謀な試みのように思う。</p> <p>中身は国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標に準じており、特色のない、どこにでもあるような計画になっているように感じる。「いまさら企業誘致？」と疑問。</p> <p>昨年発効した「水銀に関する水俣条約」に関して一言も触れていないのは、国際条約とはいえ、その条約名となっている自治体の総合計画としては、非常にもったいない。水俣病や水銀対策に関して、自治体として出来る限りのことを率先して行うといったことを序文や市長挨拶部分で触れる程度のことはされてもよいのではなかろうか？</p> <p>水俣病の過去は決して消すことができないので、水俣病色を薄めていくのではなく（逆効果）、真正面から受け止めた政策を行っていく、総合計画に盛り込んでいくことが肝要である。その方が外部の評価も上がり、まちの活性化につながる。例えば、今年は「MINAMATA」というハリウッド映画ができる。これを利用しない手はない。日本中でどこにハリウッドの映画タイトル名になるまちがあるか。ユージン・スミスにちなんで、若手写真家や芸術家の登竜門の展覧会等を設ける。また、日本を代表する作家・石牟礼道子にちなんだ文学関係のイベントを設ける。など、いくらでも素材はある。いずれも水俣病と切っても切れない人たちであるが、世界的評価はきちんと受け止め、そして、積極的に利用していく、といった戦略が必要であろう。</p>	<p>「環境」の視点は、本市にとっては欠かせないものであると認識しており、今後も引き続き取り組んでいきます。</p> <p>他方で、市民ワークショップや市民意識調査の結果によると、地域経済の活性化や福祉の充実等を望む声が多く寄せられたため、その点も考慮して「目指す将来像」及び「基本目標」を設定しました。</p> <p>多様で安定した雇用の場の創出のため、企業誘致は重要な施策の一つと考えています。</p> <p>頂いた御意見を参考に、12 ページの「(4) 地球レベルでの環境問題の進行」の中で触れることとします。</p> <p>本市においては、地域の再生・振興に向け、今後も引き続き「水俣病問題」に向き合っています。</p> <p>頂いた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>

No	ページと項目名	意見等の概要	市の考え方
1	<p>【ページ】 17 ページ</p> <p>【項目名】 目指す将来像「みんなが幸せを感じ 笑顔あふれる元気なまち 水俣」</p>	<p>つまり、目指すべき将来像には、「もう誰の幸せも奪わない、命と環境を守るまち、水俣」というように、何らかのかたちで「環境」を残すべき（環境施策を最優先課題にすべき）だと思ふ。</p>	<p>目指す将来像については、冒頭で述べたとおりです。また、子どもから高齢者まで広く共有していただけるようにするため、親しみやすく柔らかい表現にしました。</p>
2	<p>【ページ】 36, 40, 46, 49, 51, 53, 55, 57, 59, 63, 68, 72, 75, 78, 81, 83, 85, 90, 93, 95, 97, 99, 103, 105, 107, 109, 111, 113, 117, 122, 125, 127, 129 ページ</p> <p>【項目名】 「ワークショップに参加した市民の 声」</p>	<p>ワークショップに参加させていただいて、以下の点が問題だと感じました。</p> <p>① 前回の総合計画の達成度等についての検証が行われませんでした。市役所内部では当然検証されたと思いますが、その内容について、市民と共有した上でワークショップを進めていった方が良かったのではないのでしょうか？ワークショップが単なるその場の思いつき、言いつ放しの意見を言う場で終わってしまったように思います。それらの意見が総合計画に掲載されていることに驚きました。</p> <p>② 最初に高校生の発表した内容が、どういう議論を経て出されたのかがまったく見えませんでした。そして、その内容についてワークショップのなかでまったく検討されることなく、次回からは、当然のごとく、柱になっていました。申し訳ありませんが、あらかじめ、市役所が柱を高校生に提示した仕込みがあったのではなかったのかという疑念を禁じえませんでした。</p> <p>③ 議論する時間もメンバーも非常に限られていて、ワークショップ「とりあえずやった感」が拭えませんでした。市民参加というには、あまりにも心もとなく、「市民参加」のためのアリバイづくりではないか、というふうに感じました。</p>	<p>今回の市民ワークショップで頂いた御意見は、参加された皆様の率直な声であり、計画策定及び今後の推進の中で、市が把握しておく必要があるものと捉えています。御指摘いただいた点につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> <p>第1回市民ワークショップにおける水俣高校生の発表（未来の水俣への提言）については、平成28年度から水俣高校で取り組まれている「スーパーグローバルハイスクール（SGH）事業」の成果発表とワークショップの開催時期が重なったため、市と高校の合同により実施したものです。当日の進行等について事前の打合わせは行いましたが、市があらかじめ高校生に柱を提示したということはありません。</p> <p>ワークショップの参加者に関しては、市報、ホームページ等で広く呼びかけ、誰もが自由に参加できるようになっていました。4回の市民ワークショップには、延べ約120人の方が参加されました（2回目は荒天のため中止となり、参加者に資料を送付しアンケート調査を実施）。参加者の感想の中に一部、時間が足りなかったという声もありましたので、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>

No	ページと項目名	意見等の概要	市の考え方
2	<p>【ページ】 36, 40, 46, 49, 51, 53, 55, 57, 59, 63, 68, 72, 75, 78, 81, 83, 85, 90, 93, 95, 97, 99, 103, 105, 107, 109, 111, 113, 117, 122, 125, 127, 129 ページ</p> <p>【項目名】 「ワークショップに参加した市民の声」</p>	<p>④ 福岡県水巻町など、市民の声を拾うために時間と手間をかけ、創意工夫で総合計画づくりを行っているところもあります。水俣市でも今一度、ワークショップを行うことの意味について、真剣に考えられることを期待します。</p>	<p>今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
3	<p>【ページ】 12 ページ</p> <p>【項目名】 (4) 地球レベルでの環境問題の進行</p>	<p>SDGs (エス・ディー・ジーズ、Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) の文章を追加していただきたい。 (理由)</p> <p>① 日本の環境首都を発信する水俣市にとって、「SDGs を総合計画に使用することで水俣市の取組が世界規模レベルであることを示すことになるので</p>	<p>SDGs の理念については、環境・経済・社会の統合的な発展により、社会全体が好循環する持続可能なまちを目指す観点から、既に2ページの「(1) 計画策定の趣旨」、16ページの「(1) 基本理念」、19・54・55ページの「施策4 持続可能な地域社会を担う人材育成」の中で触れているところですが、 なお、27・55ページには用語説明も記載しています。</p>
4	<p>【ページ】 65～85 ページ</p> <p>【項目名】 (基本目標3) 住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり (保健・医療・福祉)</p>	<p>熊本県では現在、「犬猫殺処分ゼロ」に取り組んでいます。ですが問題山積で遅々として進んでおりません。県として取り組んでいることですので、市町村も協力していかないといけないのではないかと考えています。今回の計画には動物愛護については一切含まれておりません。動物愛護は、市民が生活しやすい「環境」という面でも考えていただきたい項目です。動物愛護の精神は、人への思いやりに繋がるものです。水俣だからこそ、そういった面からも何かしら発信してあげるとよりよい水俣づくりになるのではないかと考えます。まずは計画に「動物愛護」を盛り込んでいただけたらと思います。</p>	<p>動物愛護に関しては、県の、平成30年3月に策定された「第3次動物愛護推進計画」の中で、県と市町村は、地域の実情に応じた動物愛護及び適正飼養の取組を進めることが必要であるとなっており、本市においてはこれまで、動物愛護団体に対して活動会場の紹介等の支援を行っています。頂いた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきますとともに、引き続き、関係団体と連携して動物愛護を推進してまいりたいと考えています。</p>

No	ページと項目名	意見等の概要	市の考え方
5	<p>【ページ】 45 ページ</p> <p>【項目名】 施策区分 6 : 持続可能な村づくり (目的、成果指標)</p>	<p>◆村づくりという文言について 「村」という言葉に、若者世代はどんなイメージを持つのでしょうか。私世代でも「村」という言葉には何だか違和感があります。おしゃれで洗練されたネーミングや表現が出来るように考えました。</p> <p>◆「村丸ごと生活博物館」の指定地区数について 4 という基準値を維持できるのでしょうか。後継者はいるのだろうか心配になりました。前回の企画当時、斬新な視点であったかもしれませんが。当時企画された方々の思い入れもあるかと思えます。現状のままでは、当時尽力された方々の想いを引き継ぐことが出来ない可能性もあります。</p> <p>農林水産省が推奨されている、農林漁業の6次産業化についても、平成30年2月時点の取り組み事例集が出ているようです。アイデアも含め、今回の総合計画にも役立つ内容がありそうです。</p> <p>経済観光課とのコラボ、起業、地域おこし協力隊の募集の視点も含めた、農林漁業の6次産業化の視点は、今後の水俣の未来について考えていくうえで、また、総合計画の策定にあたり必須のキーワードになるかと思えます。</p> <p>「村丸ごと生活博物館」を考えられた方々の想いを引継ぎ、温故知新、事業継続の為には、6次産業化の視点も含め、未来を担う高校生にアイデアを募るなど、新たなリノベーションを盛り込んでもいいかもしれないと考えました。</p>	<p>◆村づくりという文言について 「村」は、里山において自然と共生し、地域の絆が継続して守られてきた地域を表現する言葉として使用しているところです。</p> <p>◆「村丸ごと生活博物館」の指定地区数について 「村丸ごと生活博物館」について、後継者問題は大きな課題であると認識しており、今後は関係者の意見等も伺いながら、これまでの取組の成果を引き継いでいけるよう市として支援していく必要があると考えています。</p> <p>頂いた御意見につきましては、今後策定する実施計画への反映を含め、取組の参考とさせていただきます。</p>
6	<p>【ページ】 49 ページ</p> <p>【項目名】 施策区分 2 : 誰もが楽しく学べる教育環境づくり (目的、成果指標)</p>	<p>◆いじめ解消率について 具体的にどんな指標であるのかをご記載頂けると、わかりやすいかと思いました。</p> <p>◆不登校児童・生徒数を成果指標とすることについて 不登校=いじめや家庭環境であると捉えるのであれば、少し安直な気がしてなりません。不登校児童の人数だけで、教育環境を語るには、少し違和感がありました。今の時代、その子の個性であったりもするのかもしれませんが、人数よりも、経過やプロセスが大切なのではないかと感じました。</p> <p>不登校については、ワークショップに参加した市民の声として、「不登校などへの対応については、各校での対応を統一してほしいです」の記載もあります。</p> <p>水俣市には教育についての専門的な知識をお持ちの方は多くいらっしゃるかと思います。文部科学省の指針や、有識者の方々の意見等も含めた専門的な検証を希望致します。</p>	<p>◆いじめ解消率について 頂いた御意見を参考に、49ページの記載内容を修正します。</p> <p>◆不登校児童・生徒数を成果指標とすることについて 頂いた御意見につきましては、今後策定する実施計画への反映を含め、取組の参考とさせていただきます。</p>

No	ページと項目名	意見等の概要	市の考え方
7	<p>【ページ】 55 ページ</p> <p>【項目名】 施策区分 2：次世代人材育成の支援・推進（目的、成果指標）</p>	<p>◆ジュニアサイエンスセミナーについて 現在開催されています、小中学校の科学展や、グランメッセで開催される科学の祭典等、水俣市のサイエンス事業は頑張っておられると思います。この機会は、科学に興味を持つ子どもを育て、とてもよい人生経験になるかと思えます。もしかしたら、科学者の卵へと成長されるかもしれません。 この2つの企画ともコラボが出来ると良いと考えました。</p> <p>◆スーパーグローバルハイスクールについて 有効期間は4年であり、現時点では2年を残す状況ですので、その事には触れておいた方が良く考えます。</p>	<p>◆ジュニアサイエンスセミナーについて 頂いた御意見につきましては、今後策定する実施計画への反映を含め、取組の参考とさせていただきます。</p> <p>◆スーパーグローバルハイスクールについて 水俣高校におけるスーパーグローバルハイスクールの指定期間は、平成 28 (2016) 年度から 2020 年度までの5年間となっています。 頂いた御意見を参考に、指定期間終了後を見据え、55ページの記載内容を修正します。</p>
8	<p>【ページ】 63 ページ</p> <p>【項目名】 施策区分 3：多文化共生の推進（目的、成果指標）</p>	<p>◆市民が外国人や外国の文化に触れあう機会の創出について 現状、触れあう機会は限られているように思います。 水俣国際交流協会について、どのような団体なのでしょう。用語についての追記があれば、わかりやすいのではないかと考えました。 成果指標については、人口 2 万人の中での 56 人とは、とても少ない印象を持ちました。会員の方を中心に、さらに裾野が広がり、市民全体へと波及するとよいのでしょうか。</p>	<p>頂いた御意見を参考に、63 ページに用語説明を加えることとします。</p>
9	<p>【ページ】 71 ページ</p> <p>【項目名】 施策区分 1：生活習慣病の発症予防と重症化予防（目的、成果指標）</p>	<p>◆成果指標について 保健事業の実施という言葉について、少しわかりづらいかも思いません。用語の説明、具体的な内容を入れて頂けたらと考えました。</p>	<p>頂いた御意見をもとに検討しましたが、保健事業に関する具体的内容については、今後策定する実施計画の中で考えさせていただくこととします。</p>

2 提出された意見等を考慮して、内容を修正した箇所については次のとおりです。

素案 頁	修正前	修正後																
12 ～ 13	<p>(4) 地球レベルでの環境問題の進行</p> <p>地球温暖化、海洋プラスチックによる海洋汚染の問題など、地球規模での環境問題が顕在化し、その問題の重要性が世界共通の認識となっています。</p> <p>国では、平成 28 (2016) 年に策定した地球温暖化対策計画に基づき、2030 年における温室効果ガスの中期削減目標の達成などに向けた取組が進められています。</p> <p>社会の営みを生活の利便性だけでなく、資源の循環の視点でとらえる考え方に基づき、ごみの減量化、リサイクルの推進、環境保全活動の推進、省エネルギー対策、新エネルギーの活用等により、限りある資源を有効に活用するとともに、豊かな自然を次代につないでいくために、環境への負荷が少ない循環型社会※を構築していくことが必要です。</p> <p>本市においては、低炭素社会・循環型社会の実現に向け、これまで既に取り組んでいる環境に配慮した各種施策を、引き続き推進していく必要があります。</p>	<p>(4) 地球規模の環境課題</p> <p>地球温暖化、海洋プラスチックによる海洋汚染の問題など、地球規模での環境問題が顕在化し、その問題の重要性が世界共通の認識となっています。</p> <p>国では、平成28 (2016) 年に策定した地球温暖化対策計画に基づき、2030年における温室効果ガスの中期削減目標の達成などに向けた取組が進められています。</p> <p><u>また、平成29 (2017) 年には、本市の市名を冠する「水銀に関する水俣条約」が発効されました。</u></p> <p>社会の営みを生活の利便性だけでなく、資源の循環の視点でとらえる考え方に基づき、ごみの減量化、リサイクルの推進、環境保全活動の推進、省エネルギー対策、新エネルギーの活用等により、限りある資源を有効に活用するとともに、豊かな自然を次代につないでいくためには、環境への負荷が少ない循環型社会※を構築していくことが必要です。</p> <p>本市においては、低炭素社会・循環型社会の実現に向け、これまで既に取り組んでいる環境に配慮した各種施策を、引き続き推進していく必要があります。</p>																
49	<p>施策区分2：誰もが楽しく学べる教育環境づくり</p> <table border="1" data-bbox="219 1066 1151 1214"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>単位</th> <th>基準値(2017年度)</th> <th>目標値(2022年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いじめ解消率(熊本県いじめ調査「心のアンケート」結果)</td> <td>%</td> <td>65.1</td> <td>80.0</td> </tr> </tbody> </table>	成果指標	単位	基準値(2017年度)	目標値(2022年度)	いじめ解消率(熊本県いじめ調査「心のアンケート」結果)	%	65.1	80.0	<p>施策区分2：誰もが楽しく学べる教育環境づくり</p> <table border="1" data-bbox="1182 1066 2114 1214"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>単位</th> <th>基準値(2017年度)</th> <th>目標値(2022年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いじめ解消率(熊本県いじめ調査「心のアンケート」結果)※</td> <td>%</td> <td>65.1</td> <td>80.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 県内の公立学校の児童生徒を対象に県が行う無記名のアンケート調査における、市内小中学校のいじめの認知件数に対する解消件数の割合。</p>	成果指標	単位	基準値(2017年度)	目標値(2022年度)	いじめ解消率(熊本県いじめ調査「心のアンケート」結果)※	%	65.1	80.0
成果指標	単位	基準値(2017年度)	目標値(2022年度)															
いじめ解消率(熊本県いじめ調査「心のアンケート」結果)	%	65.1	80.0															
成果指標	単位	基準値(2017年度)	目標値(2022年度)															
いじめ解消率(熊本県いじめ調査「心のアンケート」結果)※	%	65.1	80.0															
55	<p>施策区分2：次世代人材育成の支援・推進</p> <p>【目的】</p> <p>～省略～ 水俣高校のスーパーグローバルハイスクール活動を支援します。</p>	<p>施策区分2：次世代人材育成の支援・推進</p> <p>【目的】</p> <p>～省略～ 水俣高校のスーパーグローバルハイスクール活動を支援します。</p>																

素案 頁	修正前	修正後																
63	<<用語説明>> 水俣国際交流協会を追加	<<用語説明>> ※3 水俣国際交流協会 ：地域に密着した国際交流を推進し、世界に開かれたまちづくりに寄与することを目的に平成7（1995）年に設立された団体。																
71	施策区分1：生活習慣病の発症予防と重症化予防 <table border="1" data-bbox="219 480 1151 614"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>単位</th> <th>基準値(2017年度)</th> <th>目標値(2022年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保健事業の実施</td> <td>—</td> <td>未実施</td> <td>実施</td> </tr> </tbody> </table>	成果指標	単位	基準値(2017年度)	目標値(2022年度)	保健事業の実施	—	未実施	実施	施策区分1：生活習慣病の発症予防と重症化予防 <table border="1" data-bbox="1182 480 2114 614"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>単位</th> <th>基準値(2017年度)</th> <th>目標値(2022年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保健事業の実施</td> <td>—</td> <td>未実施</td> <td>実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>※今回の指標からは削除することとし、実施計画策定段階で改めて検討します。</p>	成果指標	単位	基準値(2017年度)	目標値(2022年度)	保健事業の実施	—	未実施	実施
成果指標	単位	基準値(2017年度)	目標値(2022年度)															
保健事業の実施	—	未実施	実施															
成果指標	単位	基準値(2017年度)	目標値(2022年度)															
保健事業の実施	—	未実施	実施															